

世界的な港湾混雑による物流への影響 (中国)

新型コロナウイルスの世界的流行により、世界各地の主要港では、港湾の混雑解消の目途が立たない状況が続いております。本号では直近で発生した中国寧波港コンテナターミナルの一部閉鎖についてご報告するとともに、年末に向け物流量の増加を受けての懸念点などをお伝えします。

1. 寧波港 梅山コンテナターミナルの一部閉鎖

- Ningbo Meishan Island International Container Terminal (MSICT) によると、従業員にコロナウイルス陽性者が確認されたため、8月11日より同コンテナターミナルでのゲート処理を止めており、再開時期は未定です。一部倉庫やトラック輸送もオペレーションを留めています。
- 寧波の他のターミナルは通常通り運営中であり、MSICTに入港した船も他のターミナルへ移動しオペレーションを継続しています。
- この情報を受けて、Maersk や Hapag Lloyd 等の一部船会社が今後の混雑を予想し、一部の船で寧波港を抜港する旨通知しています。
- 近隣の上海港も過去3年間でも比較的悪い混雑状況となっています。8月13日(金)現在、寧波港には37隻・上海は26隻が沖待ちとなりました。
- 今回のターミナル閉鎖は港湾全体のオペレーションからすれば部分的であるものの、これから年末のクリスマス商戦を控える各荷主にとって、コロナウイルスの再蔓延・労働力不足や自然災害等によりサプライチェーンの混乱を招く懸念があるとして、波紋を呼んでいます。



Google Map に加筆

2. 今後の見通しについて

- 新型コロナウイルスのさらなる感染拡大が中国でのロックダウンにつながるのではないかと懸念が高まる中、これからのクリスマス商戦を控え、アジア～アメリカ西海岸に向かう航路の運賃の値上がりが見られます。
- 既に混雑している米国西海岸の主要港(ロサンゼルス・ロングビーチ港)に、物流のピークシーズンの需要が拍車をかけており、スポット輸送での運賃はFEUあたり2万ドル以上に高騰しています。
- さらに、デルタ株の蔓延を防ぐため、今後中国国内でさらなる規制が加わることを懸念する声が上がっております。6月に発生した塩田港の一部封鎖はスエズ運河封鎖の2倍も市場に影響を及ぼしたといわれており、徐々に中国での新規感染者数が増えてきていることを危惧している専門家も出ています。
- 今後、ホリデーシーズンに向けた物流のピークシーズンを迎えるため、これからさらに混雑が長期化する恐れがあります。上記情報につきましては、あくまで現時点での状況をご報告するものです。最新情報を常にご確認いただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。



【出展】Lloyd's List 8/9号

Maritime Logistics Professional <https://www.maritimeprofessional.com/news/>

日刊 CARGO <http://www.daily-cargo.com/new/news/>

JOC <https://www.joc.com>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリントピックス バックナンバー